日本ハーモニカ芸術協会中部支部連合会　http://nichigei-chubu.jp/

日芸協中部ニュース　No.42　2023年12月1日 発行

編集・発行:日芸協中部　広報委員会

☆第34回日芸協中部ハーモニカコンサート

8月2日「ハーモニカの日」に第34回日芸協中部ハーモニカコンサートが名古屋駅前の「ウィンクあいち」で開催されました。今までは2月に催されていましたが、「ハーモニカの日」盛り上げ活動の一つとして開催時期を変更し、プログラムには「ハーモニカの日」のロゴマークを入れました。出演者は独奏12人、三重奏1組、四重奏1組、五重奏1組、14人の大合奏1組でした。独奏では準師範・師範に昇格された方5人のお披露目演奏と昨年の第12回複音ハーモニカコンクールのジュニア部門第2位の松山悠翔さん、特別賞の松山翔真さん、今年の第41回F.I.H.ジャパンハーモニカコンテスト複音部門第1位の田中恭枝さんの演奏がありました。

今回のゲストは「カルテット響」の4人の皆さん。鍵盤ハーモニカも交えた四重奏でしっとりとした音色と歯切れの良い迫力ある演奏で「リンゴ追分」、「夜桜お七」など8曲を熱演。会場からのいっぱいの拍手に応えてなんと2曲もアンコール曲の演奏があり、大いに盛り上がりました。

（ゲストの「カルテット響」）

☆第28回アンデパンダン発表会

第27回まで夏に開催されていました「アンデパンダン発表会」は、第28回（今年度）から開催時期・会場が変更となり、2024年2月18日（日）12時30分より名古屋市天白文化小劇場で開催されます。多くの方に気軽に発表していただくため、独奏の申込対象は今回より初級～研究科にまで広がります。皆さんの日頃の練習の成果を発表しあい、聴き、楽しみましょう。合奏はグレードの制限はありません。皆さんの出演をお待ちしております。ゲストは、第6回複音ハーモニカコンクールシニアの部第1位の中瀬真佐夫さん（当会副理事長、知多支部長）です。ご家族・ご近所の方・お友達等 お誘いあわせの上、ぜひご来場いただき、素敵な演奏をお楽しみください。

◇ グレード認定等のお知らせ ◇

2023年10月　中部支部関係分

【初級】★愛西ハモクラブ=岩田昌二　★桑名ハモクラブ=先田泰子、水谷 幸

【中級】★栄中日CC（入門初級）=今枝健一 ★雁宿ハーモニーM=榊原 操　★西尾ﾊｰﾓﾆｶｻｰｸﾙ=伊藤良子、左右田せつ子　★中瀬教室=渡辺順子、三宅克己　★武豊サークル=鈴木みよ子　★はもにか勝山=山口登代子、三屋智子

【上級】★ハーモニカみわ=伊藤 孝、西澤稜而　★ハーモニカ花音=奥野民憲　★南大高中日CC=近藤冨佐子、三輪千永子　★愛西ハモクラブ=窪地義明、安田みゆき　★津島カルチャー=酒井千里 ★アマービレハモ=加藤勤一　★さくらハーモニー=友岡幸一、舩渡冬美、西澤裕子　★ハーモニカレインボー=上地はるみ

【研究科】★トリプルエイ=菊地雅子　★中瀬教室=清水八重子

☆Various研修会（多講座同日開催）

8月26日（土）、大府市の愛三文化会館で開催されました。例年はテーマを絞って1～2の研修会を行ってきましたが、開催の費用対効果の向上、受講者の交流促進等を狙って、多講座同日開催となりました。参加者がどの程度集まるのか不安でしたが、東海3県以外の静岡、福井、石川からも受講希望者があり、154人の参加になりました。講師は当会の先生方が担当し、午前は「心に響く演奏法」、「コード＆バスハーモニカの演奏指導」等の4講座、午後は「アンサンブル指導」、「編曲のための音楽基礎知識」等の5講座を開催しました。受講者は午前と午後から各1講座を自由に選択し受講します。研修後は、ホールにおいて大澤龍己さん（当会理事長、師範）の指揮の下、バス＆コードハーモニカ研修とアンサンブル研修の受講者60人による大合奏が披露されました。大迫力の演奏で、大きな拍手に包まれました。大合奏の後にはミニコンサートが行われ日本ハーモニカ芸術協会の東海3県の支部長(6人)による独奏とアンサンブルグループのコーキンズとパライーゾの演奏を楽しみました。

（大澤龍己さんによる大合奏の指導風景）

＜訃報＞

矢野康晴さん（瀬戸支部長、当会顧問、師範）が8月12日に逝去されました。（享年94歳）
本会、及び ハーモニカ音楽の発展のため多大な貢献をされました。そのご功績に深謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

☆第 18 回なごやハーモニカ演奏会

暑い日も少し秋の気配が感じられる様になった 10 月 7 日（土）名東文化小劇場で開催されました。合奏 12 組、独奏 18 人　延べ 127 人の皆さんが練習の成果を発表しました。回を重ねる事に出演者の演奏のレベルアップもあり演奏会を盛り上げました。また初出演の名古屋市高年大学卒業生の「鯱城会ハーモニカを楽しむ会」の合奏も新グループの登場と期待されます。

出演者、司会者、来場者の方々、スタッフ皆さんのお蔭で無事演奏会を終えることが出来ました。2024 年演奏会は、10 月 5 日（土）中村文化小劇場での開催を予定しています。会場が名東文化小劇場から、中村文化小劇場に変わりますのでご注意下さい。

（寄稿：入山佳江さん）

☆第 12 回ふれあいコンサート

朝晩は肌寒さを感じるようになった 10 月 15 日(日)、多治見市のヤマカまなびパークにおいて開催されました。合奏 3 組、四重奏 1 組、独奏 15 人、延べ 37 人の出演でした。四重奏 1 組と二重奏 1 組、独奏 1 人が欠席になったことは残念でしたが、皆さんが日頃の練習の成果を発揮しようと一生懸命演奏している姿が印象的でした。今年は四重奏「リモーネ」が友情出演し、花を咲かせました。最後に演奏に合わせ、客席の皆さんと 4 年ぶりに「今日の日はさようなら」を歌い、実行委員長の小島尚徳さんよりお礼の挨拶で幕を閉じました。

（寄稿：西尾庸子さん）

☆第 1 回三重ハーモニカ街道演奏会

三重県のハーモニカ界は近年若い指導者の誕生で一変！これまで乏しかった交流の機会ができ、活気が生まれ、高齢指導者にやる気を起こさせてくれました。三重県指導者会は 2022 年 8 月 6 日初会合を開き、演奏会の開催に取り組んできました結果、10 月 17 日(火) 四日市市文化会館の第 4 ホールで開催することができました。参加 6 教室から 8 グループと独奏 15 人、総勢 45 人が出演、観客入場者数約 70 人でした。客席はほぼ満席！ 何とか失敗もなく時間通り終了、皆が協力して楽しく親睦も深め有意義な集いでした、

支援して頂いた方々に感謝申し上げます。早速、反省会を行い、来年は三重県全域から出演者を募り愛好者を増強するため今回の会場とは違った会場を予約する予定です。　（寄稿：草深 茂さん）

☆第８回ピュアハーモニカコンサート

10 月 22 日（日）、新型コロナウイルス感染の恐れが去っていない中、今回も入場者を 150 人と制限して開催した当コンサートは、カラリと晴れた秋晴れの行楽日和と相俟って、満席の 150 人余の来場者となりました。会場は、岐阜県の「セラミックパーク MINO」（多治見市）で 13 時から開演致しました。当コンサートは、ハーモニカ音楽を広く PR するために、「一般の方むけのコンサート」をコンセプトにしており、今回もお客様は 7 割近くがハーモニカ関係者以外の方でした。演奏曲は、「ルビーの指環」、「リバーサイドホテル」、「ドリゴのセレナーデ」、「ハンガリー舞曲第５番」等合奏及び独奏 18 曲、そして、10 月 8 日に逝去された谷村新司氏の曲、「昴」及び「いい日旅立ち」の 2 曲も追悼演奏しました。

お客様は静かに聴かれており、シーンと静まり返った中での演奏の時間と、温かい大きな拍手の時間との対比が絶妙なコトラストを描き出していました。感謝！　（寄稿：加藤精吾さん）

☆トリオ 99 の２つのコンサート

トリオ 99 （岩田雅子さん、大澤龍己さん、森正義さん）は 10 月に、二つのコンサートを開催しました。

10 月 1 日は、安城市内の安城昭林公民館で開催されました。14 時開演、童謡「靴が鳴る」から「浜千鳥」まで三重奏だけでなく、デュオ　ア・ガルの「津軽海峡冬景色」、独奏 2 曲を含め全 17 曲が演奏されました。初めて演奏する三重奏「荒城の月」は、ビギン、ルンバなどのリズムも取り入れた演奏スタイルでした。約 100 名のお客様もトリオ 99 のバラエティに富んだ音色を楽しんでいただけたことと思います。

10 月 23 日には、西尾市一色町にある普元寺本堂で「名刹ハーモニカコンサート in 普元寺」が開催されました。このコンサートは、西尾市在住の糟谷和恵さん（準師範）のご縁で開催することができました。トリオ 99、デュオ ア・ガルの他 糟谷さんも出演されました。本堂の荘厳な雰囲気の中、トリオ 99 の「シビーグ シモア」に始まりア・ガルの「黒田節」（越天楽バージョン）

糟谷さんの「荒城の月幻想的変奏曲」と寺院に相ふさわしい曲が演奏された後、トリオ 99 の「童謡絵巻」シリーズ 3 曲が演奏されました。途中ご住職の軽妙洒脱なお話もあり、コンサートは大変盛り上がりました。晴天に恵まれた秋の一日でしたが、本堂満席のお客様もハーモニカ日和の一日となりました。　（寄稿：大澤龍己さん）